

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年01月31日

計画の名称	東京都流域下水道事業整備計画（暮らしを支え、未来の環境を創る下水道）（重点計画）												
計画の期間	平成30年度～平成32年度（3年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	東京都												
計画の目標	単独処理区を流域下水道へ編入し、多摩地域の下水道事業運営の効率化と水環境の向上などを図っていきます。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	6,736	A	6,736	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H30当初)	中間目標値	最終目標値 (H32末)
1	八王子市及び立川市の単独処理区域を流域下水道に編入した面積を、29%（H30当初）から45%（H32末）にします。 八王子市及び立川市の単独処理区域の面積の割合 八王子市及び立川市の単独処理区域を流域下水道に編入した面積 / 八王子市及び立川市の単独処理区域を流域下水道に編入する計画面積の合計（2,116ha）	29%	%	45%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
事後評価は、「東京都流域下水道事業整備計画（暮らしを支え、未来の環境を創る下水道）」及び「東京都流域下水道事業整備計画（防災・安全）」と一体的に実施する。														



事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
計画策定主体である東京都にて評価を実施し、定量的指標（事業指標）の達成状況が掲載された「経営レポート2021」を東京都下水道局アドバイザーボードに報告することで参考意見を聴取した。	令和4年度
	公表の方法 東京都下水道局ホームページに掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	多摩地域の下水道事業運営の効率化と水環境の向上などを図るため八王子水再生センターで水処理施設や設備等の増設を進め、令和3年1月に八王子市単独処理区の編入事業が完了した結果、単独処理区を流域下水道に編入した面積の割合が45%に向上した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
令和3年度から令和7年度までの5年間を計画期間とする「東京都下水道事業 経営計画2021」に基づき、下水道事業を将来にわたり安定的に運営し、お客様である都民の皆さまに質の高い下水道サービスを提供していく。	

